



真っ赤に染められたアルプススタンド。4年前の赤鬼たちはアルプスの大応援を背にプレーした。今回も前回に引き続きH26年に卒業された野球部のOBの皆さんのメッセージを紹介していく。

田生命 日本エスリート 大日本塗料 パろうさん 酒は黄桜 関西外大 27

# 「真っ赤に染まる大応援 感じて」

H26年卒OB

本校野球部OBからの激励③



速報新聞

キマグレ

発行所  
彦根東高等学校

新聞部

彦根市金亀町4番7号

「H26年卒」

「全国でも通用する力ある」  
山中俊亮さん

4年前の夏の甲子園出場時に主将を務めていた山中さんは「今年のチームは、4年前の自分たちの時よりも力があり、その力は全国でも通用すると思う」と分析され「やるからには結果にこだわり、自分たちは、彦根東の野球を全うしてほしい」と力強く話された。



「鳥肌が立つほどの大応援」  
武田圭太さん

「真っ赤なアルプス。鳥肌が立つほどの地響きの凄い応援。甲子園独特の雰囲気。いろんなことを思い出すという武田さん。現役の野球部員に向けて「全国制覇目指して頑張ってください。全力で応援しています」とエールを送られた。

「一日でも長い夏に」  
谷澤翼さん

「今回の夏の甲子園を通して、彦根東高校が文武両道の素晴らしい高校であることを全国の人に伝えてほしい」と期待される谷澤さん。「甲子園での初勝利をあげて、最高の仲間と、一日でも長く野球をし、最高の夏にしてほしい」と話された。

「滋賀代表として自信をもって」  
戸田将誠さん

4年前、チームの主務を務めていた戸田さんは「主務という役割の大変さや苦労が報われたのは甲子園出場決定の瞬間だった」と振り返られた。現役の野球部員に向けて「滋賀代表の自覚をもって、東高野球部として取り組んできたことに自信をもって、甲子園の舞台を存分に楽しんで」と助言された。

「甲子園とても羨ましい」  
谷口奈緒子さん

「雨の中の決勝戦。優勝が決まった瞬間監督と喜び合った。涙が止まらなかった」と思い出される当時マネージャーを務めていた谷口さん。現役の野球部員に向けて「甲子園出場がとても羨ましい。真っ赤に染まるアルプスの大応援を感じて、甲子園を楽しんで来てほしい」と話された。

今回、野球部のOBの皆さんから紙面上には紹介しきれないほどの応援メッセージが寄せられた。4年前の赤鬼たちの魂は受け継がれていく――